

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成27年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
27-2	多様な観測データの活用による道路交通施策評価のためのモデル開発	山梨大学 教授 佐々木 邦明	A
<p><研究の概要></p> <p>多様な観測データが利用可能になってきたことを活用し、観測データを援用した道路や空間の状態変化を高精度に予測できる交通シミュレーションの開発を目的としている。状態変化とは、短期の経路別の需要変化や、ゾーンの時間帯別滞在人数、事故等のイベント検出等を指し、これらの予測結果を活用して情報提供およびマネジメントを支援する。</p> <p><中間評価></p> <p>アクティビティモデルの構築、交通流シミュレータの改良が着実に進展しており、このまま研究を推進することで十分な研究成果が得ることが期待できるため、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アクティビティモデルと交通流シミュレータの統合に期待したい。 2. 今後、シミュレータの精度検証方法についても検討していただきたい。 3. 構築されたモデルを社会的、実務的に活用するために必要な機器、ソフト、手順等の概略も整理していただきたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。